

麦の情勢について

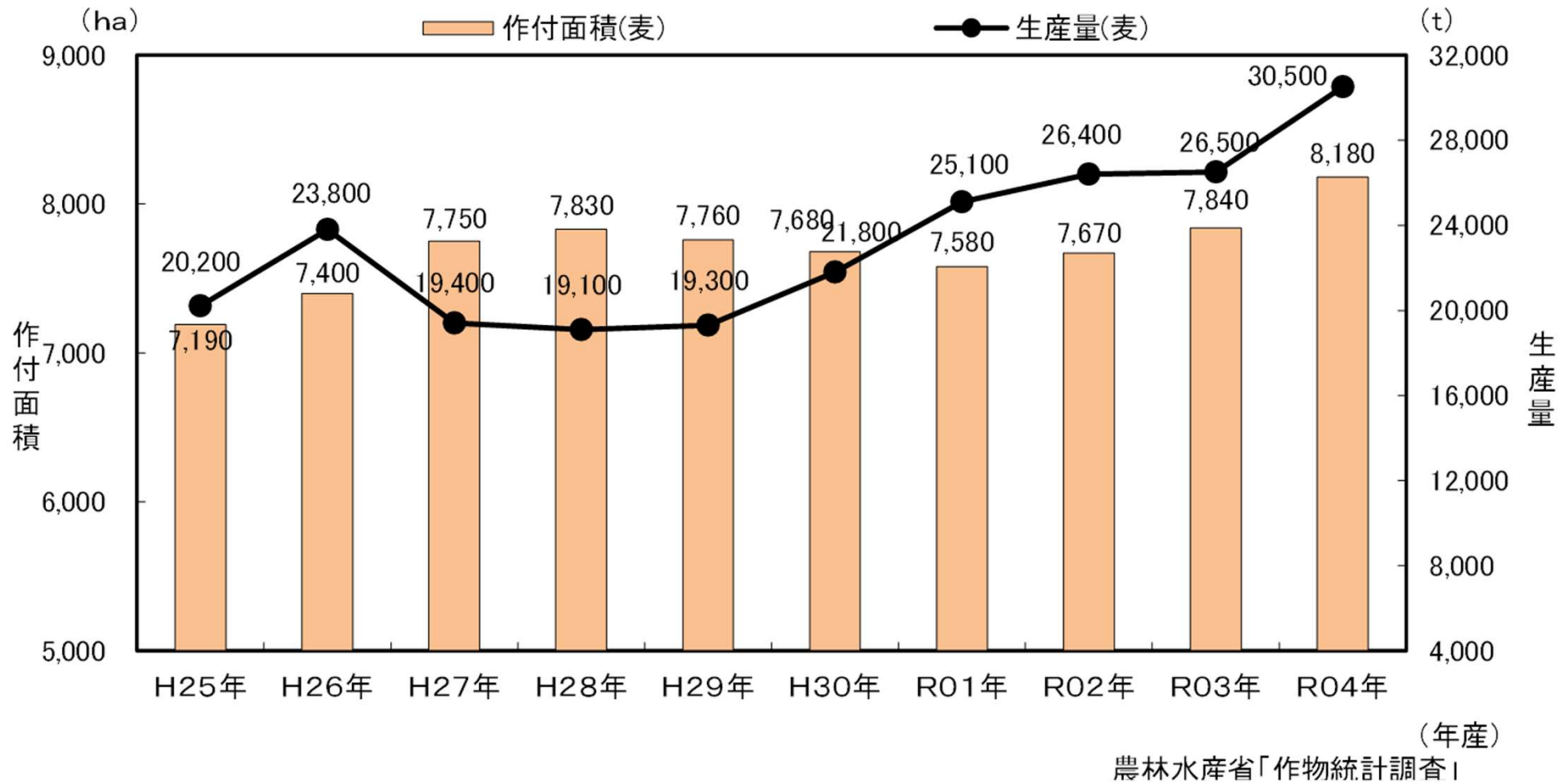


令和6年2月10日
全国農業協同組合連合会 滋賀県本部

1. 滋賀県における麦の生産状況について

(1) 滋賀県における麦の作付面積および生産量について

麦は、水稻に次ぐ中心的な作物で、団地化により高品質で安定的な生産が進められています。
作付面積は8,180ha、生産量は30,500ト、とともに近畿1位となっています。



(2) 滋賀県で作付される麦の使用用途および実需者の評価について

小麦

銘柄	使用用途	評価
びわほなみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麺用を中心に、菓子用（クッキー、ビスケット）や天ぷら粉、お好み焼き、パン等、幅広く使用。 ※単一銘柄による商品化の拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩留まりが良く製粉工場の作業効率も良い。 ・ 滋賀県産では唯一、単一銘柄での挽砕が可能 ・ 年産ごとの品質のバラつきが見受けられてきた。
ふくさやか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麺用を中心に使用。 	
ミナミノカオリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ パン用を中心に中華麺等に使用。 ※滋賀県の学校給食用パンとして使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年産、地域による品質差が大きい。 ・ タンパクが低い。

大麦

銘柄	主な用途	評価
ファイバーノウ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭用、業務用の押麦や米粒麦のほか、雑穀と混合して使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異物（カラスノエンドウ等）も一部あるが全体的に品質は良い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麦茶用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タンパクが高く麦茶用に適している。

(3) 滋賀県麦を使用した商品および店舗についての紹介

滋賀県産麦の実需者からの評価の向上にともない、滋賀県産麦を利用した商品や飲食店が近年増加しています。下記に一例を紹介いたしますので、ぜひご利用ください。



ちゃんぽん亭総本家
令和5年4月から麺にびわほなみ使用



平和堂 E-WAもっちりどら焼き
生地にふくさやかを使用して令和5年9月より新発売。



お好み焼はここやねん
令和4年10月からお好み焼き、もんじゃ焼きの生地にびわほなみを使用。



平和堂
E-WAもっちり食パン
生地に滋賀県産小麦を使用して令和5年11月より新発売。

(4) 需要に応じた品種作付けのお願いについて

全国と同様に小麦については滋賀県の販売予定数量が実需者の購入希望数量を上回る「ミスマッチ」の状況となっています。また、**6年産は5年産と比較して「ミスマッチ」が大きくなっています。**

大麦については「マイナスミスマッチ」の状況となっていますが、6年産は5年産と比較して「マイナスミスマッチ」は減少しています。

生産者のみなさまには**需要に応じた品種の作付けと、品質の向上**をあらためてお願いいたします。

○令和5年産、6年産販売予定数量・購入希望数量の推移

単位：トン

		びわほなみ	農林61号	ふくさやか	シロガネコムギ	ミナミノカオリ	小麦合計
6年産	販売予定数量	11,797	2,124	4,404	680	2,179	21,184
	購入希望数量	10,426	1,053	4,355	625	1,179	17,638
	差	1,371	1,071	49	55	1,000	3,546
5年産	販売予定数量	8,577	3,834	3,855	444	1,932	18,642
	購入希望数量	8,250	3,380	4,300	402	1,475	17,807
	差	327	454	▲ 445	42	457	835

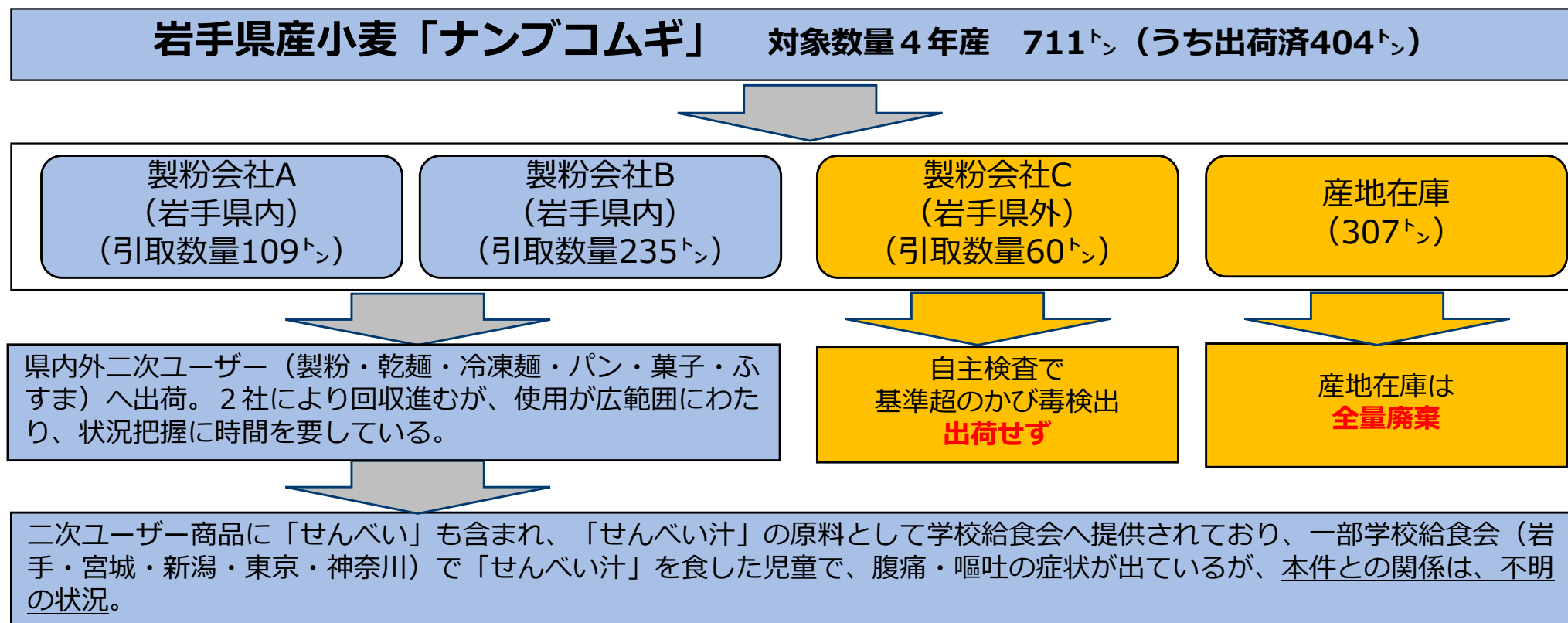
		ファイバースノウⅠ	ファイバースノウⅡ	小粒大麦 合計	ニューサチホコ [®] ールデン (大粒大麦)	イチバンボシ (はだか麦)	4麦合計
6年産	販売予定数量	1,259	3,785	5,044	154	140	26,522
	購入希望数量	1,918	4,030	5,948	0	170	23,756
	差	▲ 659	▲ 245	▲ 904	154	▲ 30	2,766
5年産	販売予定数量	1,207	3,776	4,983	136	138	23,899
	購入希望数量	2,984	4,780	7,764	0	180	25,751
	差	▲ 1,777	▲ 1,004	▲ 2,781	136	▲ 42	▲ 1,852

2. 麦生産における安全・安心対策について

(1) 令和4年岩手県産小麦の赤かび毒(DON)基準値超過について

令和5年11月9日、令和4年産の岩手県産小麦「ナンブコムギ」の販売先での『かび毒「デオキシニバレノール」(以下「DON」)』自主検査したところ、食品衛生法における基準値を超えた小麦が検出される案件が発生しました。

その後、岩手県内の2製粉メーカーからも製粉商品として消費者へ流通されていることが判明し、現在、製粉・製品の回収を行っています。



(2) 赤かび毒 (DON) の毒性について

日本は、麦類の生育後期に降雨が多く気温が高いため、赤かび病が発生しやすい環境にあります。
赤かび病に感染した麦を摂取した場合の影響と国による規制については下記のとおりとなります。

摂取した際の影響について

- 動物実験においては主におう吐、摂餌量の減少、体重増加抑制および免疫系に及ぼす影響がみとめられています。
- 更に高用量では、胎児毒性および催奇形性が認められています。

加工することでの分解の可否について

- 熱には安定なので、ゆでる、焼くなどの通常の調理温度ではほとんど分解しない特徴があります。

国による規制について

- 上記のため小麦（原麦）においては1.0mg/kgを超えて含有するものであってはならないと食品衛生法により規格基準が定められています。

(3) 生産者のみなさまへのお願い

赤かび病での汚染の予防および被害の低減のため、生産者のみなさまには下記の事項に取り組みいただきますようお願いいたします。

1. 赤かび病が発生しにくい対策

(1) 伝染源植物の除去

前作の作物残さ等のほ場からの持出しや**確実な鋤込み**を行う。
作物生育期間を通して**ほ場及び畦畔の除草**を行う。

(2) 健全な土作り

適切な**土壌 pH** 及び栄養素が確保されるよう、必要な**土壌改良資材**又は基肥を施す。

(3) 適期播種

品種ごとに**適期播種**に努めるとともに、**適切な播種密度（播種量）**とする。

(4) 窒素施肥量

窒素質肥料を極端に多く施肥することを避ける。

2. 赤かび病防除適期の判断

(1) 生育状況の把握

防除適期を逃さないよう、**ほ場の巡回等により麦類の生育状況を常に把握**する。

(2) 適期防除

以下の生育時期に**必ず最初の防除を実施**する。

小麦・六条大麦：**開花を始めた時期から開花期まで**の間

二条大麦：穂揃い期の**10日後頃の葯殻抽出期**

気象条件や過去の赤かび病の発生状況等に応じて**追加の防除**。

初回防除、追加防除ともに**適期を逃さず行うことが重要**

降雨が続く場合であっても、短い晴れ間を利用して確実に防除を行う。

【参考】 散布後30分以降の雨であれば防除効果の有意な低下はない

農薬散布から降雨までの時間の影響

処理	発病度 (%)	かび毒濃度 (mg/kg)
無降雨	2	1.5
散布直後降雨	28	9.8
30分後降雨	9	5.0
60分後降雨	7	1.0

異なる添え字は多重検定による有意差あり

3. 農薬の選択

J Aの暦を参考にし、**薬剤、剤型、使用時期、散布方法による効果の違いなどを考慮**して適切に選択する。
同一系統の薬剤の連続使用は避けるのが望ましい。

【参考】 粉剤よりも、水和剤・ゾル剤の効果が**高い傾向**にあります。

4. 適期における適切な収穫の励行

(1) 適期収穫

刈り遅れにより降雨に当たること、早刈りや降雨直後の収穫により乾燥時間が増大することで、赤かびの発生が助長されるため、**適期に確実に収穫する**。

(2) 赤かび病被害麦の別刈り

かび毒に高濃度に汚染されている可能性があるため、収穫の際は赤かび病や倒伏の被害を受けた麦を別刈りするなど、仕分けを徹底する。

(3) 収穫、輸送時の汚染の予防

収穫に用いる農機や輸送に用いるコンテナ等は作物残さがないよう清掃し、清潔に保つ。輸送は乾燥した状態のコンテナを使用し、水濡れ防止用の覆いをする。

(4) 収穫後の速やかな乾燥の励行

収穫した麦は**可能な限り速やかに乾燥調製施設に搬入し乾燥**させる。
乾燥するまで一時貯留する場合は水分を低下させる。

※刈り遅れはかび毒の発生を助長するので、適期に収穫する。多発ほ場や倒伏しているほ場は、ほかの麦と分けて収穫・乾燥するなど仕分けを行う。乾燥・調整までの間に赤いかび病による被害粒が増加することがあるので、収穫後は速やかに乾燥する。